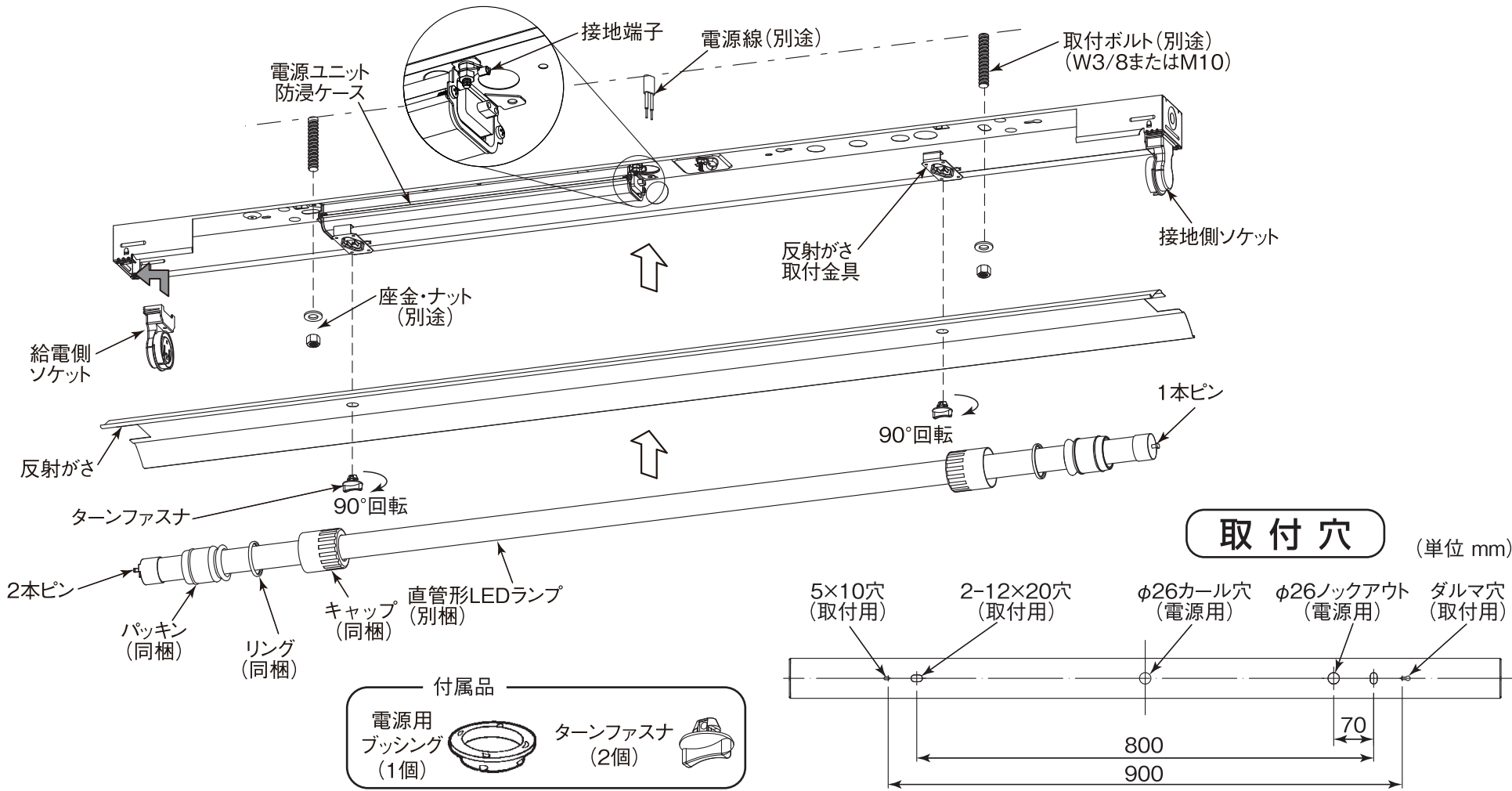


各部のなまえと取付けかた ⚠ 警告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）



1 取付前の確認

- 器具質量に十分耐えるよう、取付ボルトの強度を確保する。
- ・取付ボルトを使用の場合は、W3/8またはM10を使用する。

⚠ 警告 ⚠
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける
(落下の原因)

2 ソケットを取付ける

- 本体に内蔵のソケットをソケット台に取付ける。

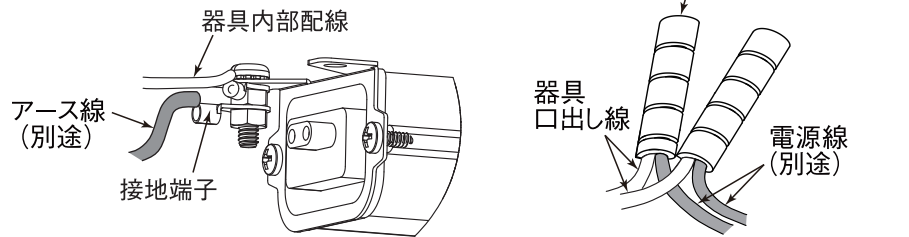
3 器具本体を取付ける

- (1) 使用する電源穴に付属のブッシングをはめ込む。
- (2) 電源線・アース線を器具本体のブッシング付電源穴から引き込んでおく。
- (3) 本体を取付ボルトまたは木ねじで確実に取付ける。

⚠ 警告 ⚠
取付けが不完全な場合
落下の原因

4 電源線アース線を接続する

- 電源線と器具口出線を確実に接続する。
- 口出線長さは、中央電源穴より器具外約0.15mです。
 - 高電位側は器具側の黒線と、低電位側は白線と合わせて圧着接続子などで確実に接続する。
 - 電源線の接続部は、自己融着絶縁テープなど、防水性のある絶縁被覆処理を確実に施すこと。
 - アース線を接地端子に圧着する。
〈D種(第3種)接地工事が必要です。〉



⚠ 警告 ⚠
アース工事は電気設備の技術基準に従い
行う(アース工事が不完全な場合は感電・
火災の原因)

⚠ 警告 ⚠
接続部の防水処理が不完全な場合、絶縁
不良による漏電、感電の原因

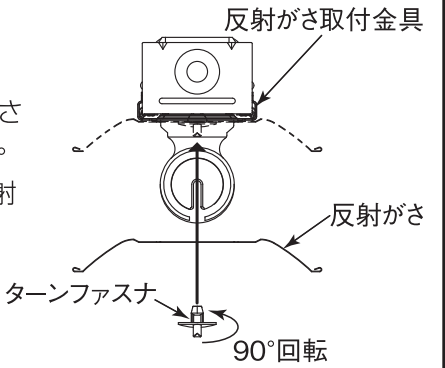
自己融着絶縁テープなどで口出し線
接続部を防水絶縁処理した後に、
防水のため防水絶縁処理した先端を
上(天井側)に向ける。

⚠ 警告 ⚠
接続が不完全な場合は、接続不良による
発熱により火災の原因

5 反射がさを取付ける

- (1) 反射がさを本体に押し付ける。
- (2) ターンファスナが反射がさ及び反射がさ取付金具を貫通するようにセットする。
- (3) ターンファスナを90度回転させ、反射がさ取付金具に固定する。

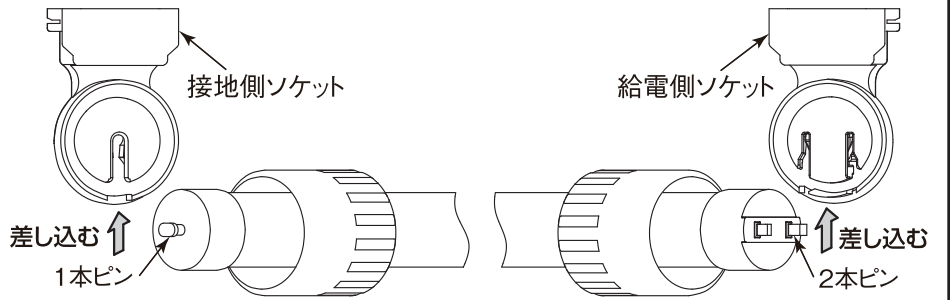
⚠ 注意 ⚠
取付けが不完全な場合
落下の原因



6 ランプを確実に取付ける

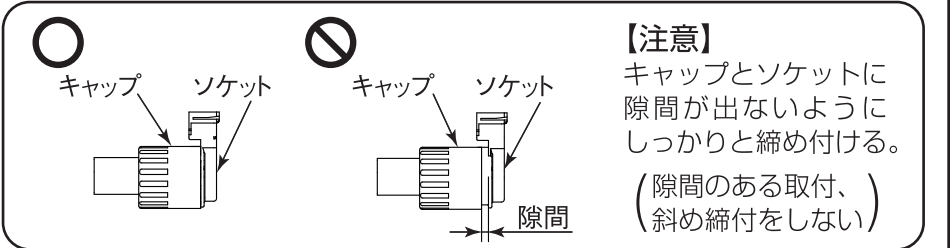
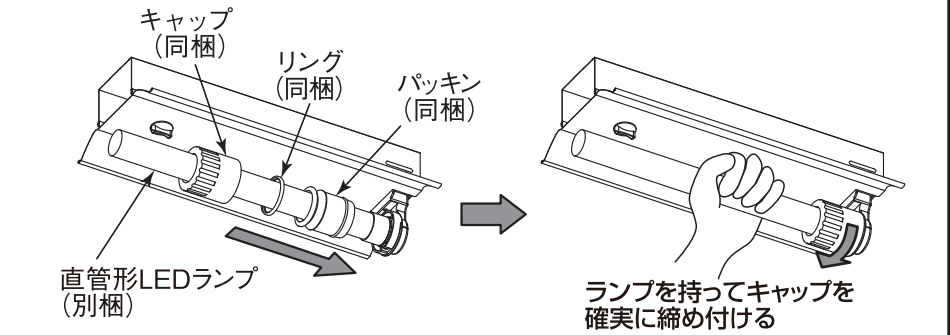
- (1) 器具に同梱してあるキャップ、リング、パッキンをランプの両端に順次通し、発光面(ランプの形名印刷側)を下側にして取付けます。

- (2) 接地側(ランプ1本ピン) を取付ける。
- (3) 給電側(ランプ2本ピン) を取付ける。



- (4) ランプピンをソケットの根本まで「カチッ」と音がするまで差し込んだ後、キャップを左右均等に締めつける。

一方に片寄り過ぎますと、接触不良を起こす場合があります。
(この場合は、ランプを長手方向、左右に動かして片寄りを直す)



⚠ 注意 ⚠
取付けが不完全な場合、感電・落下の原因

【注意】
キャップとソケットに
隙間が出ないように
しっかりと締め付ける。
(隙間のある取付、
斜め締付をしない)